



2020年11月5日

各位

会社名 キョーリン製薬ホールディングス株式会社
代表者名 代表取締役社長 荻原 豊
(コード番号 4569 東証第1部)
問合せ先 グループ経営企画統轄部 部長 谷藤 功典
電 話 03-3525-4707

通期業績予想の修正について

当社は、2020年11月5日開催の取締役会において、2020年5月12日(決算発表時)に開示した2021年3月期の業績予想を下記の通り修正しましたので、お知らせいたします。

記

1. 2021年3月期の連結業績予想数値の修正(2020年4月1日～2021年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	115,500	9,700	10,200	7,600	132.67
今回修正予想(B)	108,000	7,800	8,400	7,200	125.68
増減額(B-A)	-7,500	-1,900	-1,800	-400	-
増減率(%)	-6.5	-19.6	-17.6	-5.3	-
(ご参考)前期実績 (2020年3月期)	109,983	7,503	8,175	6,149	107.35

2. 業績予想数値の修正理由

第2四半期連結累計期間の業績を踏まえ、今後の新型コロナウイルス感染症の影響を織り込み、売上高を下方修正いたします。

利益面では、売り上げの減少に伴い売上総利益の減少を見込みます。一方、開発候補品のライセンス契約締結による契約一時金を計上したことから、研究開発費は増加する見込みですが、販売費及び一般管理費は全体として当初予想からの減少を見込みます。しかしながら、売上総利益の減少を吸収することは出来ない見通しであり、営業利益、経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益を下方修正いたします。

なお、2020年5月12日に公表しました配当予想(年間75円/株)の変更はございません。

以上

(注) 上記予想は本資料発表時、入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績は本予想額と異なる可能性があります。

補足資料

1. 連結売上高について

(単位:億円)

	2020年3月期 (実績)	2021年3月期 (当初予想)	2021年3月期 (修正予想)	対前年 増減額	対当初予想 増減額
売上高	1,100	1,155	1,080	-20	-75
新医薬品等(国内)	775	797	738	-37	-59
新医薬品(海外)	15	10	11	-4	+1
後発医薬品	310	349	330	+20	-19

2. 主要製品の売上高について

(単位:億円)

	2020年3月期 (実績)	2021年3月期 (当初予想)	2021年3月期 (修正予想)	対前年 増減額	対当初予想 増減額
新医薬品等(国内)					
フルティフォーム	146	150	145	-1	-5
デザレックス	26	88	75	+49	-13
ベオーバ	43	70	73	+30	+3
ラスビック錠	11	41	17	+6	-24
ペンタサ	133	117	125	-8	+8
ウリトス(自社販売分)	58	27	22	-36	-5
ナゾネックス	60	26	24	-36	-2
キプレス(成人製剤)	53	42	38	-15	-4
キプレス(小児製剤)	65	53	43	-22	-10
ムコダイン	58	49	33	-25	-16
ミルトン	24	22	23	-1	+1
後発医薬品					
モンテルカスト錠「KM」※1	115	107	102	-13	-5
モメタゾン点鼻液「杏林」※2	28	35	35	+7	±0
イミダフェナシン錠「杏林」※3	—	10	8	+8	-2

※1 キプレスのオーソライズド・ジェネリック (AG)

※2 ナゾネックスのオーソライズド・ジェネリック (AG)

※3 ウリトスのオーソライズド・ジェネリック (AG)